

# 洛東園 だより

■平成24年7月発行 社会福祉法人 洛東園  
■発行責任者:木村晴恵  
■〒605-0981 東山区本町15丁目794  
■電話番号:561-1171 ■FAX:531-8372  
■ホームページアドレス <http://www.wf-rakutouen.com>

## ご挨拶 ～香りの役目～

社会福祉法人 洛東園 園長 木村 晴恵

東福寺の新緑が美しくなりました。

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、去る5月18日社会福祉法人洛東園 法人理事会・評議員会が開催され、「平成23年度事業報告(案)ならびに決算報告(案)」が承認されました。平成23年度は「修道洛東園」の事業開始年度に際し、ご利用者ならびにご家族また関係者の皆様方のご支援・ご協力のもと無事一年が過ぎました。感謝申し上げます。

修道洛東園の玄関を入ると「なづなカフェ」からコーヒーとクッキーの香りが漂い、「ホッとする」雰囲気となっております。またその香りは4階フロアまで届き、ご利用者みずから車椅子で「今からティタイムに行ってきます」とエレベーターを操作し、「なづなカフェ」に到着。新聞を読みながら、またお友達とのお話を楽しまれたり、ショートステイのご利用者は「コーヒー」や「おしるこ」を楽しみにされておられるとのこと。

また、洛東園デイサービスセンターにおいては毎日午後になると「コーヒーのいい香り」が漂いはじめます。自動販売機で申し訳ないのですが「コーヒー」「紅茶」「グリーン

ティ」「ジュース」等々ご自分の好みで選んでいただいております。3階認知症フロアのご利用者は、エプロンを着け「ウエイトレス」さながら注文を受け届けるお手伝いをしてくださいます。

養護老人ホーム棟におきましても隔週ではありますが「授産所カフェ」を行っており、やはり「いい香り」が漂っております。そしてここでも「香り」に引きつけられるように養護棟食堂に皆さんが集まって来られます。

このように「食」は、ただ「食べること」だけではなく「香り」「雰囲気」「自己選択」「お手伝い」等々を通じて「何気ないことの組み合わせ」が食欲と行動力を引き起こすということなのです。これからもお一人お一人の関係を大切にしてお付き合いさせていただきたいと思っております。特別養護老人ホーム洛東園におきましても、取り組みたいと思っております。ご期待ください。

最後になりましたが「平成23年度決算報告書」を合わせて掲載させていただきます。ご意見等いただければ幸いです。よろしく願い申し上げます。

### 洛東園の理念

- ◎個性・自主性を尊重し明るい温もりのある生活
- ◎安全と快適な暮らし
- ◎地域に根ざした開かれた施設

## □ 養護老人ホーム 「料理」



養護老人ホームでは月に1度料理教室を開催しています。メニューは栄養士さんと利用者の皆さんで作りたい、食べたいものを選んでいきます。4月はクレープを作りました。

いつも参加されるメンバーのYさんは昔、大学の学生食堂で調理師として働いておられました。朝7時に出勤して、昼食時間までは仕込みや掃除などの昼食の準備をされて、昼食の時間帯が終わってからは、次の日の仕込みを行い、休む暇もなかったそうです。

当時の事をお尋ねすると、「毎日毎日疲れ果てたけれど、私が作った料理を学生さんたちは、美味しいと言って残さずに食べてくれて、本当に嬉しかった。そして、仕事が終わってから家族のご飯を作るのが日課でした。」と忙しかったけれど充実

した日々であった様子を話してくださいました。

そして今は、これまでの調理師の経験を活かして、料理教室で腕をふるっておられます。レシピの手順通りに調理を進めて、仕上がりも見事です。出来上がった料理はみんなで味わい、「次は何を作ろうか」と来月の相談が始まります。

Yさんにとって「料理」とは、昔は「人に喜んでもらうこと」でしたが、今は「昔を思い出しつつ、みんなと一緒に作って、味わうことが楽しみ」に変化しています。これからももっと「楽しみ」や「生きがい」を持った生活ができるよう「料理教室」を通じて支援していきます。



## □ 特別養護老人ホーム 洛東園

# おいしく食事がとれるように

平成22年3月より、特養では歯科衛生士の訪問が始まりました。現在、9名の利用者さんが往診で来られている歯科医師の診察や歯科衛生士から歯ブラシの使い方、磨き残しやすい部分等、助言をいただいて口腔ケアの援助を取り入れています。

そして、安全に食べて頂けるように口腔リハビリの観点からも助言を頂いています。例えば、喉の筋肉を動かすことは、腕の筋肉にも関係しています。喉の筋肉が硬くなっていると、上手く飲み込むことが出来なくなるため、腕からマッサージを行い、筋肉をほぐしていきます。腕の筋肉を使うボール投げや、喉の筋肉を維持するために、歌を唄う等を行っています。

昔、野球の経験があるNさんは、楽しみながらキャッチボールを行われています。以前より腕が動かしにくくなっておられますが、ご自分の力で食べることを維持されています。他の利用者さんは、口腔内を清潔に保つことで、口臭が減少したり、言葉数が増える等、さまざまな効果が見られています。また、口腔内にある菌やウイルスを抑えることで、風邪や肺炎の予防につながっています。食べることを楽しみにされている利用者さんに、おいしく食事を食べて頂き、日常が心地よくなることを祈りながら、今後も、口腔ケアの実施に取り組んでいきたいと思えます。

また、歯ブラシは歯科医師、歯科衛生士からアドバイスをいただいた物を使用しています。ブラシの大きさや、毛の長さ、柔らかさも、歯茎の弱くなってきた高齢者には、大切となってきます。義歯を洗う際のブラシも、歯を磨くブラシで磨くと傷が付きやすくなり雑菌の繁殖の原因になるため、義歯用のブラシを使用しています。在宅でお過ごしの方も、この機会に、歯を磨くブラシと義歯用のブラシを使い分されては如何でしょうか。



## □ デイサービスセンター 昼食の風景



認知症対応型デイサービスでは、少人数で落ち着いた雰囲気でご過ごしていただけるよう取り組んでいます。食事の場面では、食事の準備や後片付けを、利用者さんに手伝っていただいています。盛り付けや食器拭きなど、利用者さんの出来る事で役割を持ってしていただく事で、自信や意欲の向上に繋がっています。

お昼前になると、利用者さんから「今日は何を手伝うんや。」と職員に声が掛かります。食事の準備をお願いすると、てきぱきとテーブル拭きやお箸を並べてたり、料理が到着すると、今度は盛り付けの準備に取り掛かります。人数分の器を用意し、見た目が綺麗に、丁寧に盛り付けていかれ

ます。おいしそうに盛り付けられた料理をお盆に乗せて、利用者さん同士で「はいどうぞ。」「おおきに。」と笑顔を交わしながら配膳されます。

食事が終わり一息ついたところで、後片付けが始まります。食器拭きの時には、「あんたこれ拭いて。私これ拭くわ。」「わかった。わかった。」と、良いコンビネーションで声を掛けあいながら、手際よく片付けていけます。食事を通し、人との関わりに繋がっています。

みなさんと楽しく食卓を囲み、おいしく食べて、今後も生き生きと過ごして頂きたいと思っています。



## 訪問介護 調理と工夫

訪問介護業務の中で今回は「食」にまつわるお話をご紹介します。

Aさんはおひとり暮らしです。住み慣れたご自宅の台所で何とか料理を作り、ご自分で後片付けもできますが、買い物にはいく事ができません。少し離れたところに住んでいる1人息子さんやお嫁さんに電話で日々の買い物を頼んでおられました。でも、本当は「昔、元気な頃のように、自分で買い物に行きたい!」と思っておられました。

週2回デイサービスに通っておられるので、お友達と話しておられたときに「ヘルパーさんと一緒に買い物に行けること」を初めて知りました。そして早速担当のケアマネジャーに相談し、「買い物同行サービス」が現実しました。

Aさんは、車椅子を使わないと外には出られません。ヘルパーさんの車椅子操作に1回目で安心したとのことでした。それは、「狭いスーパーの中でも迷惑をかけないように操作してくれはるし、片麻痺がある自分に配慮して物を選びやすいように配慮してくれはるし…」等々感激されたようです。

そして、何よりも「自分でメニューを考え、材料を選び、自分で作ること」機会が確保されたことで、Aさんが生活のはりを持ち「元気で頑張ろう」と復活されたようでした。

当たり前の生活ができている私たちは日頃



「ご飯をつくるのがめんどくさいなー」と思っていますが、Aさんのように「週2回、約1時間の買い物同行」サービスが日々の生活の張りとなることを学びました。

また、Bさんへの援助は、食べるものをうまく噛めないため、柔らかいもので食べやすいメニューを考えたり、食べやすい大きさに食材を刻んだりして工夫をしています。

これからの季節、暑くなってくると毎年、食欲が落ちてくる利用者さんが多くおられます。利用者さんに食べる意欲を持ってもらえる様に、ヘルパー同士で調理方法や料理の工夫について、自分たちで考えたことや利用者さんから教えて頂いた事など、情報を交換しながら今年も皆さんが夏を元気に乗り切れるように「食」の援助に入らせて頂きます。



## 特別養護老人ホーム 修道洛東園

# 食事を選ぶことの大切さ



修道洛東園では毎日の食事が楽しくなるように、週5回の選択食や毎月の松花堂弁当、面前料理(利用者さんの前で調理を行う)など、様々な取組みを行っています。

面前料理では、調理の過程をその場で見る事ができますので、利用者さんは安心して食べる事ができます。調理中はどんな料理に仕上がるか、楽しみにされており、良い匂いに誘われて普段と比べて食欲も増しておられます。

選択食ではメインのおかずを『魚料理』か『肉料理』に選ぶ事ができます。毎回魚料理を選ぶ利用者さんや、メニューを見てどちらにするか考える利用者さんなど、その様子は様々です。毎日決められた料理だけではなく、ご自身で考えて食べる

ものを選択する事が日々の刺激となっています。毎日の献立は、委託給食会社が作成していますが、修道洛東園の栄養士が利用者さんに適した献立になっているか確認を行っています。

また、毎月の給食会議や日々のミーティングを通して、利用者さんやご家族からの食事に対するご意見や、利用者さんの食事の様子を検討してその方に適した食事形態で提供しています。

日々の食事が日常の安心感を与え、それが良い明日をつくる。その事が食事の根本だと思えます。これからも利用者さんにとってよりよい食事を提供できるように努力していきたいと思えます。

### ある日の選択食メニュー

選択食(肉)	選択食(魚)
和風おろしとんかつ	あじのかば焼き
うまい菜の炒り煮	
空豆のひすい煮	
里芋の味噌汁	

### 松花堂弁当



みょうがご飯      かつおのたたき  
 野菜の天ぷら      夏の冷やし鉢  
 納豆のようかん      湯葉のすまし汁

## 居宅介護支援事業所

# 「配食サービス」ってすごいです



私たちが、生きていく上で「衣・食・住」が必要であり、それが満たされて、初めて人は文化的なことを求めていくと云われています。その中でも、「食べる」ということは、一番大切であり、食べる物が無いことは、耐えられないし、おいしいものを食べた時は幸せを感じたりと、「食べる」ということは生活の中で、大きな意味を持っていると思います。

洛東園では、平成3年6月より配食サービスを行なっています。

月～土の昼食を自宅まで配達し、直接手渡しで、お弁当を届けています。洛東園の配食では、`直接届ける、`ということ、ととても大切にしています。`直接届ける、`とは、実際にお顔を見て声をかけたり、お体の様子を伺ったり等利用者さんの心身の状態を確認することが大事だと考えているからです。

配食サービスの協力員さん(60才～82才)は以下のように話をしています。

「ここ最近、世間では孤独死のニュースが多く聞かれています。東山区は高齢者の方が多く、決

して他人事ではないと思います。お弁当を持っていくと、ありがとうと笑顔を見せて下さったり、また少しの時間ですが世間話をすることもあります。そんな中で私たちが担う役目はとても大きいものだと思いますし、少しでも役に立てたらと思っています。」

また私たちケアマネジャー(介護支援専門員)にとっても、配食サービスのスタッフや配食協力員さんによる利用者さんの安否確認、状況の観察はとても大きな情報源になっています。このように高齢者にとっては『食』を通じて、「社会とのつながり」を持つことが出来る、素晴らしい力と感じています。

今後社会が高齢化していく中で、配食サービスの役割は増々重要になってくると思います。私たちケアマネジャーも配食サービスも含め、様々なサービスと連携しながら、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らして頂けるように、努力していきたいと思っています。

※配食協力員さん 大募集中!

洛東園の行事予定				
施設名	月	7月	8月	9月
養護老人ホーム		七夕会	納涼夏祭り	敬老祝賀式
特別養護老人ホーム	洛東園	七夕会	納涼会	敬老祝賀式
	修道 洛東園	納涼会	修道ふれあい祭り	敬老祝賀式
デイサービスセンター		七夕会・納涼会	盆踊り	敬老祝賀式
もみじの家		七夕会・納涼会	地藏盆・夏祭り	お月見・敬老祝賀式
全体		養護棟避難訓練	施餓鬼法要	総合防災訓練

その他、クラブなども随時行っております。

# もみじの家 もうひとつの我が家



「いままでの暮らしをこれからもその人らしく、心豊かに笑顔が集うもうひとつの我が家」を理念としています。さらに「もうひとつの我が家」は利用者さんだけでなく、職員にとっても同じです。

たとえばその一場面としてこのような風景が当たり前となっています。

昼食が済んだホッとした時に

**夜勤職員**：明日の朝ご飯はパンとご飯とどちらがいいですか？

**Aさん**：ご飯がいいです。

**Bさん**：私はパンがいいです。

**夜勤職員**：お米はありますので、一緒にパンを買いに行きましょう。ついでに足りない食材も買いましょう。(このような会話があって、遅出の職員がいる間にすぐ近くの馴染のお店に買い物に出かけ、朝食の準備を一緒にするのが普通になりました)

足りない食材は、利用者さんと一緒に近所の商店に買い物に行きます。昼食と夕食は洛東園から出来上がったものが届きますが「ご飯を炊くこと」「おかずを盛り付けること」は、利用者さんの役割となっています。

このように「食に関する行為」は、今までごく当たり前のようにできていたことが何らかの障がいや原因で行うことが難しくなられた場合でも、ほんの少しお手伝いさせていただくことでおできになることが多くあることを職員は学びました。

さらに、利用者さんから「味噌汁の味付け」「お米の研ぎ方」「野菜の皮の剥き方」「切り方」等々教わる事のほうが多くあるのです。

このように「我が家でみられる普通の光景」がここでは当たり前となりました。もみじの家では「食」を通して、居心地の良い、「もうひとつの我が家」になりました。

## 事業活動収支計算書

(自)平成23年4月1日(至)平成24年3月31日 (単位:円)

支出の部		収入の部	
科目	金額	科目	金額
人件費	714,177,324	介護保険収入	868,755,316
事務費支出	168,793,764	措置費収入	173,474,594
事業費支出	151,066,659	診療報酬収入	26,962,980
減価償却費	64,706,732	その他の事業収入	74,656,065
徴収不能額	70,668	経常経費補助金収入	23,596,344
引当金繰入	11,914,945	寄付金収入	5,878,582
		雑収入	6,530,072
		引当金戻入	149,708
		国庫補助金等特別積立金取崩額	28,112,506
<b>事業活動支出計</b>	<b>1,110,730,092</b>	<b>事業活動収入計</b>	<b>1,208,116,167</b>
借入金利息支出	9,052,747	受取利息配当金収入	30,192
経理区分間繰入金支出	5,000,000	経理区分間繰入金収入	5,000,000
雑損失	8,703,079	雑収入	334,386
<b>事業活動外支出計</b>	<b>22,755,826</b>	<b>事業活動外収入計</b>	<b>5,364,578</b>
固定資産処分損	252,728	施設整備等補助金収入	2,700,000
その他の特別損失	6,254,725	固定資産売却益(売却収入)	19,999
		その他の特別収入	6,741,985
<b>特別支出計</b>	<b>6,507,453</b>	<b>特別収入計</b>	<b>9,461,984</b>
次期繰越活動収支差額	972,895,879	(当期活動収支差額)	82,949,358
		前期末繰越活動収支差額	889,946,521
<b>支出の部合計</b>	<b>2,112,889,250</b>	<b>収入の部合計</b>	<b>2,112,889,250</b>

## 貸借対照表

平成24年3月31日現在 (単位:円)

資産の部		負債の部	
流動資産	556,274,933	流動負債	79,612,832
固定資産	2,038,079,977	固定負債	977,973,256
(うち基本財産)	1,651,699,263	負債の部合計	1,057,586,088
(うちその他の固定資産)	386,380,714	<b>純資産の部</b>	
		基本金	143,995,429
		国庫補助金特別積立金	404,565,664
		その他の積立金	15,311,850
		次期繰越活動収支差額	972,895,879
		(うち当期活動収支差額)	82,949,358
		純資産の部合計	1,536,768,822
<b>資産の部合計</b>	<b>2,594,354,910</b>	<b>負債及び純資産の部合計</b>	<b>2,594,354,910</b>

### 寄付・寄贈

酒井医療株式会社様、久保見博一様、杉山元様 他  
ありがとうございました (寄付・寄贈順)

### 洛東園だより

発行/社会福祉法人 洛東園

〒605-0981 東山区本町15丁目794 電話番号:561-1171 FAX:531-8372  
ホームページアドレス <http://www.wf-rakutouen.com>

※尚、記事中の写真は全てご本人様、ご家族様の承諾を得て掲載しております。